

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和 6 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 5 回）	
開 催 日 時	令和 6 年 11 月 5 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 44 分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】 委員 10 名、事務局 3 名、関連部署職員 7 名、コンサルタント 2 名、合計 22 名 【欠席者】 2 名	
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議題 （1）瑞穂町子ども計画骨子案について （2）子どもの意見聴取について 4 その他 5 閉 会	
傍 聴 者	2 名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 ・ 【資料 1】 瑞穂町子ども計画 計画骨子案について ・ 【資料 2】 次期計画の内容について ・ 【資料 3】 瑞穂町こどもフェスティバル意見聴取結果について	
会 議 内 容 （主な意見 等を原則と して発言順 に記載。）	1 開 会 （会長） 2 あいさつ （会長）	本日の欠席委員 2 名、出席委員 10 名ということで、瑞穂町子ども・子育て会議条例第 7 条の規定に基づき、半数以上の委員の出席により、会議は成立となるのでこれより開催する。 私は今、教育相談室並びに教育支援室というところで勤務しているが、そこは非常に見晴らしが良く、よく不登校・不登校傾向の子どもたちに季節を感じてもらおうと外の景色を見せている。先日も富士山を見せたが、初冠雪が 10 月 26 日というのは、130 年間測っている中で一番遅く、更に記録を更新しているということで、子どもたちに雪のない富士山を見せられている。暖かいのはいいが、あと 1 か月もしないうちに 12 月となるが、本当に短い秋という中、先日こどもフェスティバルが盛大に行われ、子どもたちの元気のいい姿も見られて、さらにエネルギーをもらった。開会式に参加する関係もあ

		って、最初から見ていたが、コンサルタントや事務局の皆さんがアンケートを取って、最初は硬い表情でしたが、だんだん慣れてきて、もう 1 時間もしないうちに、シールを貼る所がたくさんの人で、みんな笑顔でアンケートに答える姿が見られた。普段はこういうことに関して、あまり意識しない子どもたちも、その時は本当に瑞穂町のことを考えてくれたのかなと思い、すごく良い光景を見た。 今日は計画の骨子案の説明と、子どもの意見聴取についてということで、こどもフェスティバルに参加された方々から感想や次回の意見聴取に向けての意見等聞きたい。
	3 議題 (コンサルタント)	(1) 瑞穂町子ども計画骨子案について ※(資料 1)『瑞穂町子ども計画 計画骨子案について』を用いて説明を行う。
	(事務局)	※(資料 2)『次期計画の内容について』を用いて説明を行う。
	(事務局)	補足になるが、文章とアンケートの結果が合致していないところや、修正が必要な箇所が点在しているので、今日は、このような感じで作っていくというイメージのお示しだということで理解していただきたい。
	(委員)	子どもの貧困や児童虐待について、詳細はこれから分かってくるという話であったが、前の計画を作った時と比べて、状況は悪くなっているのか、変わらないのか、そこは大事なところで、すぐに手を打たなければいけない。資料 2 で見直しになっているのは、課が変わったから見直しになっているのではないかと思うが、計画自体が 5 年前よりも状況が悪くなっていて、新しい計画を立てなければいけないとなった時に、単に継続という形でいいのか。
	(事務局)	資料 2 について、基本的には第 2 から第 3 期のと

		ここで継続という話だと思うが、状況によっては各部署で今以上のことをやらなければいけないこともあると思うし、逆に今やっている施策が終わるということはあまりないと思う。今後、文章に落とし込む中で、各部署に見てもらって、継続から見直しに変わる可能性はあると考えている。
	(会長)	資料１の１０ページに出生率が書いてあり、例えば都と区部・市部、瑞穂町とあると、瑞穂町が多いのか少ないのか、比較して判断できるが、例えば１５ページの子どもの権利についての認知度の数値を見た時に、どれ位の位置付けにあるのかが見えない。危機的な状況なのか、それともいい状態なのか、厳しい状況であれば、それに対する新たな対策が必要になってくると思う。 資料２についても、継続は今までどおりだが、見直しとなった時、今までの事業のどの部分を見直したのかが見えると、意見が言い易いと思うので、比較できるものがあった方が良い。
	(事務局)	(２) 子どもの意見聴取について ※(資料３)『瑞穂町こどもフェスティバル意見聴取結果について』を用いて説明を行う。
	(委員)	子どもたちに聞き取りはできたか。
	(事務局)	子どもたちはシールを貼るのが楽しみで、特に質問以外の意見はその場では出なかった。
	(委員)	小学生と４歳の娘がいるが、小学校高学年、低学年、未就学児とシールの色が分かれていて、４歳の娘はキラキラシールが良かったと言っていたが、ちゃんと未就学児はキラキラシールになっていてありがたかった。
	(委員)	私は会議に参加していたので理解できた。あの場で初めて見た人には分かりにくかったのではない

		かと思ったが、その場に係の人がいたので、アドバイスを受けながら、ワイワイと楽しかった。
	(委員)	例えば自然がいっぱいあるところにシールを貼った時に、「そうなんだ、どこの場所が好き？」と聞いてメモをすれば、次に活かせるのではないか。
	(事務局)	こちらもその想定でメモを準備していたが、人が多く行列が出来ていたので、シールを貼ってもらうだけの形になってしまった。産業まつりの時はメモを取りながら実施したい。
	(委員)	今回初めてこどもフェスティバルに参加したが、こんなに楽しいイベントがあると知れて良かった。長蛇の列が出来ていたので並んでみたらアンケートの列だった。アンケートの列とは知らずに並んだ人も多かったと思う。 1歳の息子はシールを貼るのが楽しかった様子だった。意見は私が選んだが、お母さんも意見を言える場所という意味で良かった。 モノレールを呼ぼう瑞穂の会のブースにも行ったが、モノレールがもし来たら何駅がいいかというのを付箋に書くコーナーがあって、子どもたちがすごく頑張って書いている様子が、すごく面白かった。次の産業まつりで、ゆっくり考えられるスペースがあれば、付箋で意見を書いてもらうようなことも、子どもたちは喜んでやってくれるのではないかと思う。
	(委員)	私は他のブースにいたので、アンケートの様子は見られなかったが、写真で見てすごくいい雰囲気だったと思った。
	(委員)	アンケートの結果を見て、「楽しいイベントがあるところ」が一番になっていて、すごく嬉しかった。 こどもフェスティバルは私が社会教育委員をやっている20年前位に始まったイベントで、段々と

		定着して色んな人たちが手伝うようになって、本当に大きなイベントになったことを嬉しく思う。 モノレールを呼ぼう瑞穂の会が、付箋に書いてもらうことをやっていたと聞いて、子どもたちにモノレールが来ることの周知が出来るイベントの日になったので、すごく良かった。 産業まつりではブースがあるので、今聞いた意見を踏まえて、私もお手伝い出来ることがあれば頑張りたい。
	(委員)	シールを貼るということは視覚的にも分かり易くていいと思う。より具体的な意見を聞ける手立てがあれば、更にやっていただきたい。
	(委員)	小学生になると次の段階を求めている子どもたちがいると思う。せっかく意見を言ったのに、この後どうなるのだろうという期待がある。アンケートを書いて終わりだったら意味がなく、結果が欲しい子どもがいると思うので、そこからどんどん広げてもらいたい。
	(委員)	回答者の中で高校生は少数だが、こういうイベントは小学生に比べると高校生は少ないものか。
	(事務局)	この日は動物との触れ合いがあり、瑞穂農芸高校がブースを出していた。来場者は中学生以下の子が多かった。
	(副会長)	当日は次のこどもフェスティバルのポスターを書こうというコーナーにいた。そこはじっくり時間取れる場所だったので、時間をかけて子どもたちが絵を描いていた。アンケートのようなシールを貼ってもらって、回転率を良くしてたくさんの方に参加してもらうことも必要だが、時間をかけてじっくり自分の内面を表現できるような場所というのは大事だと思ってお手伝いさせていただいた。

	(会長)	意見の中には次の産業まつりで参考になる意見もあったと思う。次は、ちゃんとしたブースがあれば、子どもたちも大人も色んな深い意見を言ってくれるのではないかなと思う。
	(事務局)	アンケート結果で、「遊べる場所があるところ」よりも「自然がいっぱいあるところ」の方が7ポイントも多い。子どもといえども、リアリスティックで、役場の職員として非常に考えさせられる結果となった。 また「家族で楽しむことができるまち」よりも「安全・安心に暮らせるまち」の方が多い結果となったことも、感慨深く気づきがあったと感じている。
	(委員)	「遊べる場所があるところ」が少なかったというのは、瑞穂町に遊べる場所があまりないという風に捉えることもできる。
	(会長)	学校現場では自然を活用し、瑞穂町の自然の良さというのは学んでいるので、私は肯定的に捉えた。捉え方は色々あるが、みんなで話をしながら広げてもらえたと思う。
	4 その他	
	(委員)	最近東京近辺では強盗事件が多発している。私は保育士をしているが園児たちに話を聞くと、子どもたちもニュース等で知っている。地域との結びつきを強くしていくことが大事だと思うが、皆さんはどう思われているのか。
	(委員)	主人が町内会長をやっているが、町内会を抜ける人が多い。町内会の仕事を見ていると、やるのがたくさんあり、会長として一生懸命にやっているが、次から次へ辞めていかれるとどうしたらいいのかと悩んでいる。どうやったら町内会に残ってくれるのか若い人たちに聞きたい。 東日本大震災が起こった後、町内会員が増えた

		が、また減ってきて、どうしたものかと悩んでいる。瑞穂町では今まで大きな災害はないが、何か起こった時に町内会のつながりは大きい。
	(事務局)	次回の会議日程について、12月6日(金)18:30からを予定しているが、状況によっては変更の可能性もある。
	(副会長)	あらかじめそれぞれの立場で質問したいことを書き入れることができるような会議の通知の方法を取れないか。せっかく色んな立場の人が参加しているので、子ども・子育て会議で取り入れてもらいたい内容があると思う。
	5 閉 会 (副会長)	本日はこれをもって瑞穂町子ども・子育て会議を終了する。